

生活の場協議会グループワーク記録【R6年5月9日（木）】

① 施設や病院から地域へ退院する際難しいと感じたこと

- ・グループホームや施設への退院が多い。ご家族の高齢化が課題、自宅に戻ってもご家族が高齢だから受け入れが難しいという事例が多数ある。
- ・長期入院での自宅復帰については、入院時の時の状況で受け入れが難しいことも多い。（暴力など大変な状況だとより家族、地域への受け入れが難しくなっている。）
- ・受け入れにおいては家族への説得が大変である。
- ・入院者の高齢化も進んでいる。車椅子での受け入れ、介護保険施設への退院も増えている。若年者（20代、30代）の退院支援は少ない。
- ・統合失調症の方の退院においては、薬の発達により症状的には落ち着いている方も多い。（通院でのフォローで退院可能な方もいる。）
- ・一人暮らしをしたいという希望は多いが、ハードルが高い。グループホームをワンクッションにして、一人暮らしに移ることが理想だと思う。
- ・長期入院からの退院支援は、受け入れに際して、新しい支援者との信頼関係を築くことに課題を感じている。
- ・区分5以上の行動障害がある利用者の退院後の受け入れ資源がないこと。
- ・家族が行方不明で連絡が取れず、介入していないケース。
- ・受け入れは行ったものの、本人の特性における問題、課題が山積しているケース
- ・利用者自身が入院生活、入所生活に安心しており、地域に出たいという気持ちが起きにくいと感じている。（理由：今の場所以外を知らないから怖い。支援者側の考えとして失敗させることへの不安を感じる。お金の課題。保証人の問題等。）
- ・地域に出た後誰がフォローしていくのか、食事、健康面等のフォロー（生活の場、日中活動の場）での対応が大丈夫なのか。
- ・利用者ごとに自立の度合いが違うことを感じている。
- ・重度の方という表記の曖昧さに困る。どのような人が当てはまるのか具体化してほしい。

② 今回の法改正で検討したいこと、不安に感じたこと

- ・報酬改定によりこれまでついていた加算が変わったことでの収入が減ることへの不安。
- ・世話人の人数配置について
- ・A型事業所の減少
- ・支援費の大部分は人件費に消えていく現状、上手く加算を取り支援の充実にもつなげていく必要性を感じている。
- ・今後はグループホームでも、地域との交流の場、居場所づくりを目指した取り組みの必要性を感じている。（CAFÉの開催等）
- ・軽度の方（区分1、2）に対してはグループホームでの生活が終着点ではなく、次の段階（共同生活型から、サテライト型、一人暮らし）への意向も考えた資源の提案が必要。
- ・報酬に関わる（加算、減算）研修がかなり増えていることを感じている。

③職員間の支援統一や、リスクマネジメントに取り組んでいること

- ・病院では週に一回対応についてカンファレンスを実施している。主治医との意思統一が大切。
- ・本院も一緒に個別支援計画を立てて目標を明確化する。
- ・出来るだけ支援情報の共有が出来るように、いろいろなツールを使って共有を行っている。(紙媒体、line の活用、定期的な(毎月・毎朝)職員会議での情報共有)
- ・line でのやり取りについてリスクを感じている。エルガナという別の共有ソフトを利用している。
- ・地域や地域消防団との関りを持ち、何か起こった時(離設、火事、災害時など)に協力できる体制を作っている。
- ・支援手順書の共有。
- ・聞かれたことに対しては即答せず、一度持ち帰って事業所としての判断をもって返答する。
- ・毎日決められた時間時情報共有、話し合いをする時間を作る。
- ・虐待防止の観点も含めた支援の振り返りの実施。
- ・一人一人に対して支援は違う。世話人、スタッフ間でも統一は難しい。本人の個別支援計画等で目標を統一したうえで個々の支援を磨いていく必要があると感じている。(統一した支援が必ずしもうまくいくとは限らない。)
- ・本人の特性や課題の理解には病院等への同行、多職種での意思統一が大切。
- ・利用者同士の相性も見極めた配置。

④やりたい研修、その他協議会の中で聞いてみたいこと。

- ・退院支援のための意見交換会。(グループホームの紹介など)
- ・実地指導に関する情報共有の機会等。
- ・グループホームの情報について(空き情報、事業所の特徴など)
- ・事例検討
- ・事業所向け、利用者向けの見学、体験会などが出来るとよい。
- ・BCP の作成、その後の運用について、実際どのようにしているのか他事業所の状況を知りたい。
- ・虐待防止についても研修が必要。日々の支援(言葉遣い等)が虐待に当たらないのか心配になる。
- ・アンガーマネジメントについての勉強会
- ・地域交流を目的としたイベントをいろいろなグループホームと一緒にやりたい。